



閉校にあたって 長い歴史に幕を閉じ、新たな未来へ

能代市立朴瀬小学校

教頭 瀧川 宗一

明治八年、朴瀬学校として児童二十名で始まって以来、これまで三三三八名の卒業生を送り出した朴瀬小学校。一四四年の歴史に幕を下ろします。

校歌にうたわれた朴瀬校の「誇り」「力」「恵み」「望み」を胸に子どもたちが「志を大きく」「強く健やかに」育つことを願います。



能代市立竹生小学校

教頭 千羽 正人

竹生小学校は日本一の学校だと自負しています。もちろん子どもたちや教師の努力だけでは実現できません。一三七年間にわたり、地域と家庭と学校が一体となって作り上げてきました。閉校となる今年度、最後の二十名が巣立ちます。これからも先輩達のように「やさしく・かしく・たくましく」(校訓)頑張つて欲しいと願います。



能代市立常盤小学校

教頭 平沢みゆき

地域と共に歩んできた常盤小学校の子どもたちは、常盤の宝としてたくさんの方々から心温まる励ましをいただき、深い愛情に支えられて過ごしてきました。

感謝の心を忘れず、これまで培ってきたものを糧として、何事にも臆することなく、笑顔でのびのびと新しい環境でも成長してくれることを願っています。



編集後記

令和初年度の「教育のしろ」も今号で終わりです。6名の校長先生のお言葉をはじめ、玉稿をお届けくださった皆さんの実践や思いを自らの実践の糧として心に留め置き、共にチーム能代で共通理解と共通実践を更に進めていきたいと思えます。来年度もよろしくお願いたします。(M)



「笑顔・活気・友情」  
～統合初年度、東雲中のキーワード～  
東雲中学校 〈令和元年9月1日〉



「田沢湖でのスキー体験教室」  
～6年生が1泊2日でスキー体験～  
二ツ井小学校 〈令和2年1月24日〉

輝きの場面